

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式					
M212U301		老年看護方法論 (Gerontological Nursing Practice)					老年看護学							
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語	その他に使用する言語	担当形態						
必修	1	3	医学部看護学科	前	木3,木4	日本語		複数(共同)						
担当教員	氏名 三重野英子・小野光美・阿部世史美 E-mail eikomi@ 内線 5093													
授業の概要	高齢者とその家族が、地域社会の中で健康にその人らしく生活できるよう、個別的な看護を展開するための基礎的能力を養う。既習の「老年看護学概論」「老年看護方法論」「高齢者支援システム論」、関連諸科学・看護学の知識および基礎看護学実習での看護実践経験を統合し、老年看護のプロセスと適用する看護技術の原理原則を探究する。													
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7
目標1 高齢者の全体像をとらえるアセスメントの視点と方法を説明する。								○		○				
目標2 高齢者のEnd of Life Careの実際を知り、人生の最終段階を支えるケアの本質を考え述べる。								○			○			
目標3 高齢者の生活機能の維持・向上に向けた日常生活援助技術の原理原則を検討し説明する。								○		○				
目標4														
目標5														
目標6														
目標7														
目標8														
目標9														
目標10														
各DPへの関連度(計10)								5		4	1			
授業の内容														
1 1.高齢者の全体像をとらえるアセスメントの視点と方法 アセスメントの枠組み、観察・測定技術														
2 1.高齢者の全体像をとらえるアセスメントの視点と方法 アセスメントの枠組み、観察・測定技術														
3 1.高齢者の全体像をとらえるアセスメントの視点と方法 事例検討														
4 1.高齢者の全体像をとらえるアセスメントの視点と方法 事例検討														
5 2.高齢者のEnd of Life Careの実際と人生の最終段階を支えるケアの本質 高齢者の死・看取りに関する社会的課題														
6 2.高齢者のEnd of Life Careの実際と人生の最終段階を支えるケアの本質 高齢者のEnd of Life の特徴														
7 2.高齢者のEnd of Life Careの実際と人生の最終段階を支えるケアの本質 End of Life Careにおける看護職の役割														
8 3.高齢者の生活機能の維持・向上に向けた援助技術の原理原則 摂食嚥下障害がある高齢者の食事援助														
9 3.高齢者の生活機能の維持・向上に向けた援助技術の原理原則 介護予防と心地よさを提供するフットケア														
10 3.高齢者の生活機能の維持・向上に向けた援助技術の原理原則 摂食嚥下障害がある高齢者の食事援助														
11 3.高齢者の生活機能の維持・向上に向けた援助技術の原理原則 介護予防と心地よさを提供するフットケア														
12														
13														
14														
15														
ラ イ ク ニ ン グ	A:知識の定着・確認	○	A:事前課題、学習記録による振り返り				工 そ 夫 の 他 の	・動画教材や看護実践事例を用い、老年看護のイメージを拡げる。 ・学生個々が考え、意見を述べる機会を頻繁に設ける。						
	B:意見の表現・交換	○	B:発問、グループ検討											
	C:応用志向	○	C:技術演習、グループによる事例検討・発表											
	D:知識の活用・創造													
授業時間外 学修の内容 と想定時間	準備学修	指定された事前課題に個人で取り組む。既習の授業科目の配布資料、教科書等を用い、次回の学修内容について予習する。(11.5h)												
	事後学修	授業資料、事前課題、教科書を用い、授業で学修した内容を復習する。(11.0h)												
	想定時間合計	23												
教科書	北川公子著者代表(2025):系統看護学講座 専門分野 老年看護学(第10版)、医学書院.ISBN978-4-260-05689-2													
参考書	水谷信子他監修、三重野英子他編集(2025):最新老年看護学2025年版(第4版)、日本看護協会出版会.ISBN978-4-8180-2785-5													

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	期末試験		90%	○	○	○							
	学修記録の内容		10%	○	○	○							
注意事項	毎回、学修記録の提出（Moodleのアンケート）をもって出席状況を確認する。												
備考	適時、授業資料や教材をMoodleにアップロードする（アップ時、メールで通知）。												
リンク													
	URL												
担当教員の 実務経験の有無	○												
教員の 実務経験	三重野（看護師）、小野・阿部（看護師、保健師）												
実務経験を いかした教育内容	・看護師としての活動経験をいかし、高齢者事例を教材に講義・演習を行う。												